

『いいなあ～～～～～!! たまらんなあ～～～～～!!』

旨そうな乳輪乳首を間近で鑑賞し、ついには我慢できずに舌を伸ばしていく……



憧れのぶつくり乳輪。膨らんでいなかつたら境目が分らないほど、薄くきれいなピンク色だ。

『うひやあ～～、膨らんでるよお～～!!』  
『ふつくり乳輪おいしい～～!!』

べちよ～～ん!!・べちよ～～ん!!・べろべろべろ・・・

ぐでろよわ

『うひやあ～～、膨らんでるよお～～!!』

『ふつくり乳輪おいしい～～!!』

べちよ～～ん!!・べちよ～～ん!!

べちよ～～ん

べちよ～～ん

フルーツ

大きな乳輪中を上から下から顔を振つて舐め回していく・・・

欲情丸出しの目つきで、べろべろ舐め回すキモオヤジの顔は実にいやらしい。

べちゃべちゃ・べろ～～ん!!・べろ～～ん!!

だらだらと涎が垂れて乳房から滴り落ちる。

きれいな乳輪が醜いオヤジのよだれまみれに汚されていく・・・

『ああ～～、うめえええ～～!!』  
『おつきいなあ～～!!』  
『きつねえな色お～～!!』

べえ～～・・・・ふいちよ～～!!

一気によだれが溢れ、だらだらと垂れ流れていく・・・

自分を焦らし焦らし、最後まで取つておいた

とつておきのご馳走をやつと味わう至福。

『はああ～、可愛い乳首い～～!!』

『ピンクの乳首おいしい～～～～!!』

感激で泣きそうな顔をしながら

舌を思い切り伸ばし動かす乳狂いの正雄。

べちよ～～～～ん!!

べちよ～～～～ん!!

べちよ～～～～ん!!

べちよべちよ・れろれろ・・・

かわい  
乳首い

べちよ  
べちよ  
べちよ  
べちよ  
べちよ

ピンクの可憐な乳首は

オヤジの分厚い舌に包み込まれるようになぶり回され、  
乳首の先の凹みまで味わうように、  
ぬめった舌が絡みついてこねくり回す・・・

ピンクの  
乳首い

わ  
わ

『ちよ、おじさん。待つて！待つて!!』

こうなつたらもう何も耳に入らない正雄。

両乳房を掴み口一杯に頬張つて、狂つたようにむさぼり吸いまくる。

乳首は絡みついたよだれと一緒に

「じゅるじゅるじゅる〜〜〜!!」つとすすり吸われる。

ちゅく・ちゅく・ちゅく・・・・と

口中に断続的に吸い込まれると思うと、

ちゅう〜〜〜!!ちゅう〜〜〜!!つと強く吸われる。

そして時折、痛い程強く口中に吸い込まれ、

さらに顔ごと限界まで吸い引っ張られる。

ちゅ  
ちゅ  
ちゅ  
ちゅ  
ちゅ  
ちゅ

乳房ごと、乳輪ごと卑猥に長く伸ばされ、  
ちゅっぽん!!と揺れ戻る。

すぐさま分厚い唇にまた襲われて、  
絡みつく舌にレロレロと高速で跳ね上げられる…

おいしい乳輪を全て口中に吸い込みたいが、大きすぎて全部は収まらない。それがまた嬉しくて、もつともつと吸い込もうと大口を開けた凄い顔でかぶりついている。

「あむふう!!」「むむむう!!」じゅぼふふふふ!!

もう、乳房を全部を飲み込んでしまいたい正雄。

舐めても舐めても、吸っても吸っても、足りない!と言う感じか?

顔を振り、涎をだらだら垂らしながら、卑猥な音を立てしゃぶり吸いまくる。

いつまでも止まることない本当にとんでもない乳狂いだ。

『うつ、うつ!!』  
『いやっ! う、うーーん!!』

両乳房をしつこくむさぼり吸われるミサは、

次第に甘い声を漏らしてしまった。

べちゃべちゃ、じゅるじゅる、ちゅうーー!!  
ちゅうーー!! ちゅうーー!!

卑猥な音が部屋中に響き渡る。

ミサはその胸に、いつも男達から欲情の視線を浴び続けている。自然と意識過剰になり、コンプレックスも手伝つてより敏感になつていて。

そんな敏感乳を乳狂いに与えてしまつてはどうしようもない。

段々声も大きくなつてしまふミサ・・・・

二回目！

「おおきい、氣持ちいいのか？」

『そ  
う  
か、  
そ  
う  
か、  
よ  
し  
よ  
し！  
こ  
う  
か？  
も  
つ  
と  
か  
？  
』

ぐにゅぐにゅ、べちゃべちゃ、  
じゅる

ちゅ～ちゅ～ちゅ～  
ぐわわわわわわ  
ぐわわわわわわ

『ほら、コレはどうだ？ コレ気持ちいいの？』

これがまあんぐん!?

「あん、あん、ああん!!」  
「ダメっ！あつ、ああつ、いやああん!!」

『ああ～ミサちゃん、おいしい～～!!』

『おじさんたまらん!! もうとりあえず一発出したいよ～～!!』

そう言うとミサを座らせ、可愛い顔に汚い肉棒をこすりつけていく・・・  
もうビクンビクンに勃起しきつて、我慢汁が垂れまくつて湯気を上げている。

昨日もチンカスまみれの汚い肉棒をしゃぶられたが、

そのまま風呂も入らず我慢汁にまみれた肉棒は、もわ～っとさらに強烈な悪臭を放っている。

『くつ、くつさ～～い!!』『いつ、いや～～!!』

『汚い!! おじさん！ やつ、やめて～～!!』

『こんなにビンビンになっちゃうの、ミサちゃんのせいなんだから～～!!』  
『ほら！ ミサちゃんに興奮しているチン●、よく見てよお～～!!』

「アヤレ！」

「アヤレ！」

背ける顔を押さえつけ、腰をクイクイ突き出しながら顔中になすりつける  
きれいな顔に我慢汁が糸を引いて卑猥だ！ 正雄のマーキングだ！！

『ああ～ミサちゃん、可愛いねえ～～!!』

何ともあからさまで、えげつない正雄の姿。性欲丸出しの変態だ。  
しかしみさが極上の美少女であればあるほど、あからさまに欲情をぶつけたい正雄だ。

『た・縦ぱいすりもお』

矢継ぎ早にバリエーションも変える。

あれもコレも贅沢に楽しみたいが、あまりの気持ちよさに先は長くはないので焦る。

今度は寄せ合わせた先っぽから突つ込む。

砲弾型に長細い見事な乳房にすっぽり全てを包まれ、抜き差しするたびに乳肉が吸い付くようだ!!

正雄の巨根でもともと最も深部までは届かない嬉しさ。にゅふ〜!!にゅふ〜!!と根元まで抜き挿しする…

あふれ楽

やん!!

にゅふーーー  
にゅふーーー

『ああいい〜!!いいい〜!!』

『すげえおっぱい〜!!いいい〜!!』

『あああああ〜!!極楽だあ〜!!』

も・もう!!と思ったが、贅沢にも大好きな乳輪乳首が欲しくなる。